

第1部 書いたり話したりする前に

第1章 相手に「伝える」ということ

第2章 説得力のない「答え」に共通する欠陥

第2部 論理的に思考を整理する技術

第3章 重複・漏れ・ずれを防ぐ

第4章 話の飛びをなくす

第3部 論理的に構成する技術

第5章 So What?/Why So?とMECEで「論理」を作る

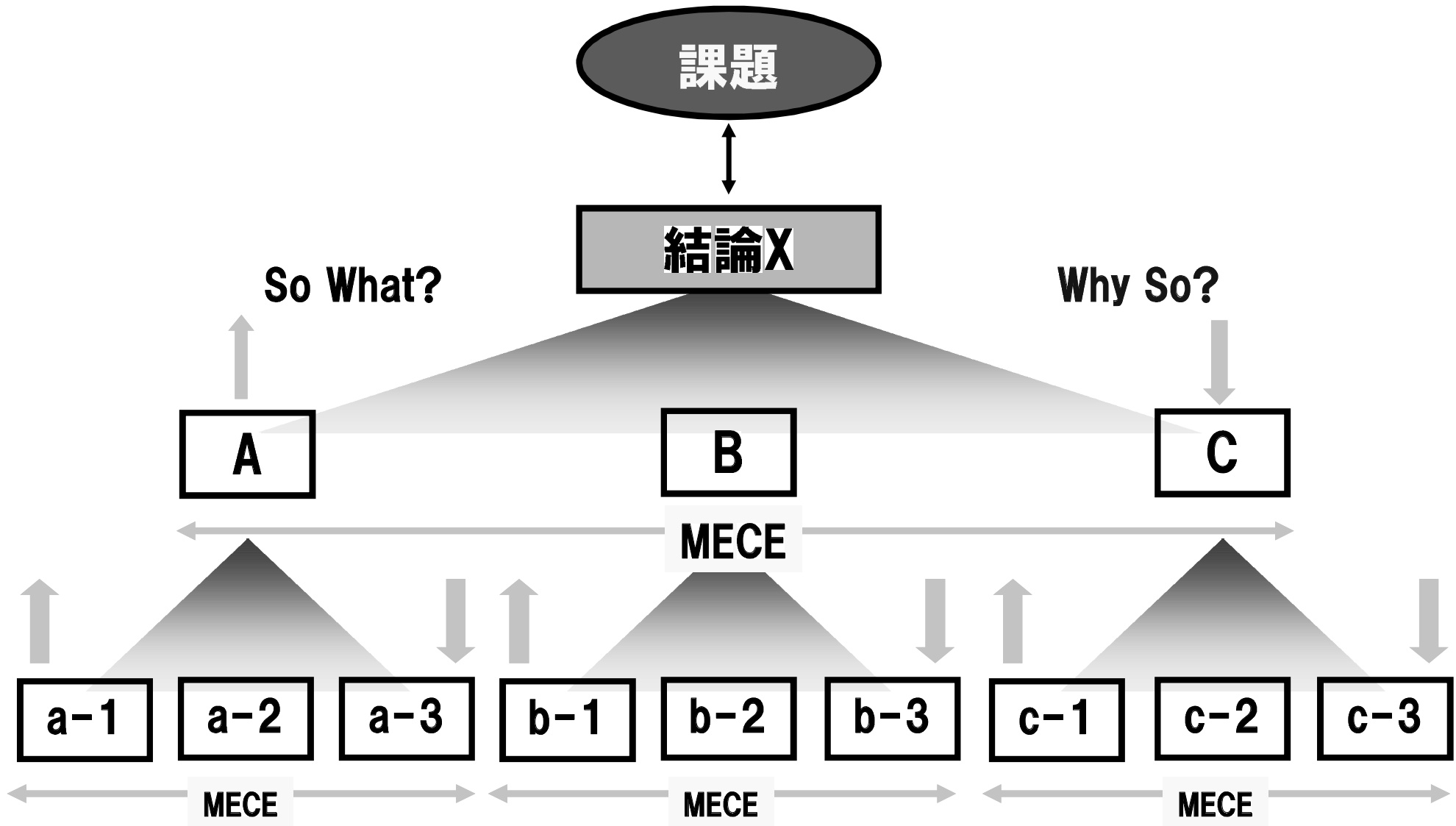
第6章 論理パターンをマスターする

第7章 論理パターンを使いこなす

構成すべき「論理」とは

結論と根拠、もしくは結論とその方法という複数の要素が、結論を頂点に、縦方向にはSo What?/Why So?の関係で階層をなし、また横方向にはMECEに関係づけられたものである





- **要件1 結論が課題(テーマ)の「答え」になっている**
- **要件2 縦方向に結論を頂点として
So What?/Why So?の関係が成り立つ**
- **要件3 横方向に同一階層内の複数の
要素がMECEな関係にある**

- 縦方向は？
 - 相手が何を望んでいるかによる
- 横方向は？
 - 同一階層内に展開する要素の数は、4つか5つ以下が目安

